

Соціальний рух (організація)

ウクライナ NGO 「社会運動」



インドの左翼とのコミュニケーション 2023/02/25

2月16日から17日にかけて、Sotsialnyi Rukhの活動家が、インド共産党（マルクスレーニン主義者）解放の第11回大会に参加しました。CPIMLは5年ごとに全インド会議を開催しています。今回のイベントは、2023年2月16日から20日まで、ビハール州の首都パटनाで開催されました。国際的な問題では、ロシアのウクライナ侵攻、ロシアと中国へのアプローチ、気候変動などの戦争に対処しようとしてきました。

私たちの活動家は、大会の国際セッション中に3つの重要なメッセージを伝えました。最初に、反資本主義と民主的社會主義のアジェンダに重点を置いて、ソツィアルニ・ルフが代表団に紹介されました。第二に、そして最も重要なこととして、私たちの反戦姿勢が概説されました。Sotsialnyi Rukhは、CPIMLがウクライナ国民との公然と連帯していることに感謝しているが、CPIMLは、私たちの見解では、次のような欠陥のある立場や意見を拒否している。ロシアからの制裁解除の呼びかけ。結論として、私たちの代表者は、インド内外のあらゆる形態の抑圧と戦うソツィアルニ・ルフの支持を表明しました。

2月19日付のプレスリリース「国際情勢と気候変動に関する決議」で、CPI(ML)は「ウクライナに対するロシアの侵略をファシストとして非難し、戦争の終結を求めた」。同時に、党は「NATOを米国

帝国主義の手段として認識し、その解体を要求した」。

我々ソツィアルニールフのメンバーは、西側が供給した武器の助けを借りることを含め、ウクライナがその領土の完全性、政治的主権、および人々を守る絶対的な道徳的および法的権利を持っていることを強く強調します。ロシア侵攻における NATO の責任はロシアの帝国主義が他国を侵略した時代にロシアと協力する複数の立場を含め、戦前に軍事的および外交的にウクライナを支援する行動が欠如していた。

繰り返しになりますが、私たちの生存とロシアの支配からの解放が危機に瀕しているときに、帝国主義を比較することは無意味です。CPIML の終身メンバーで活動家のカビタ・クリシュナンが繰り返し強調しているように、普通のウクライナ人は実際の抵抗戦争と戦うために命を懸けている。ウクライナの闘争に同情しているインドの左派の少数の声は、国際情勢の分析において批判的であり続け、プーチンのプロパガンダを再現することを避けるべきです。

モディ率いる BJP 政府の完全な親ロシア的および親権威主義的スタンスにより、インドの人々はウクライナを支持し、ウクライナの闘争を支援するために、ますますファシスト化する帝国主義国家であるロシアとのモディの経済的、外交的、政治的協力からの完全な断絶を扇動すべきだと私たちは考えます。

ロシアに対して、そしてインドからウクライナへの武器供給を含む。私たちは、インドからロシアに対する制裁を強化し、国際的な連帯に基づく立場を採用するよう求めています。私たちが望む世界は、多極または一極帝国主義の世界ではなく、国家間の民主的協力の世界です。

したがって、相互の連帯と国際主義の精神に基づき、大会への参加が CPIML とインドの左翼に、ロシアの侵略とウクライナの抵抗に対する彼らの立場を再評価するよう促すことを心から願っています。

スピーチの書き起こしを以下に添付します。

***** 2023 年 2 月 17 日、CPI(ML) の第 11 回会議の国際セッションでのスピーチ*****

議会代表の皆様、

第 11 回 CPIML 大会にご招待いただきありがとうございます。ウクライナで成長を続ける左翼の政治組織として、私たちは世界中の志を同じくする運動とつながることを常に喜んでいきます。ウクライナとインドは非常に独特でユニークな国ですが、同様の脅威に直面しています：現在進行中のネオリベラルな攻撃、ネオナショナリズムの台頭、労働者の権利と社会保障への攻撃、さらに COVID-19 のパンデミックによる影響、迫り来る生態系の問題です。大惨事。その上、ウクライナはロシアの残忍な軍事侵略と 1 年間戦ってきた。この闘争において、わが国は抽象的な平和だけを求めているのではなく、独立、自己決定、ロシアの植民地主義、帝国主義、ますますファシスト政権からの解放を求めています。

今日、ソツィアルニールフを代表して伝えたい重要なメッセージが 3 つあります。まず第一に：私たちは誰ですか？ Sotsialnyi Ruh (「社会運動」) は、反資本主義的で社会志向のアジェンダを推進するウクライナの左翼政治組織です。この組織は、ユーロマイダン、またはウクライナの尊厳革

命をきっかけに、2014 年に設立されました。プログラマティック テキストの 1 つに記載されているとおりです。

「私たちは、過去数十年間の数多くのウクライナの抗議行動の背後にある問題(貧困、著しい不平等、社会的不公正、民主主義の欠如、汚職と政治における既得権益、警察の暴力、市民のおよび社会的権利への攻撃)を解決できるのは、真の社会革命、すなわち、寡頭資本主義の既存のシステムを民主的な社会主義に置き換えることです。」

私たちの政治的ビジョンには、民主的社会主義からエコ社会主義まで、社会民主主義から直接民主主義まで、社会主義フェミニズムから過激な社会主義まで、反資本主義的立場の天蓋が含まれていますが、統一テーマは利益よりも人々を優先することです。政治活動家として、私たちはこのビジョンに従い、ウクライナの労働者を擁護し、法的支援を提供し、規制緩和と IMF 主導の新自由主義改革に反対し、女性の権利を擁護し、超国家主義者の暴力に反対して結集してきました。また、労働組合運動や国際協力イニシアチブにも積極的に取り組んでいます。

第二に、反戦のメッセージを伝えさせてください。2 月 24 日のロシア侵攻の開始とともに、そしてそれ以前にも、私たちは国際的な左翼に対し、この戦争について NATO と米国を非難し続ける代わりに、ロシア帝国主義の復活を認めるよう繰り返し求めてきました。生存競争が危機に瀕しているときに、どちらの帝国が「より良い」かを選択するのは馬鹿げています。重要な前提条件として、ウクライナとその国民が独立と非植民地化のための戦いに勝利した場合にのみ、私たちの組織の進歩的な目的が果たされることは明らかです

ご存知のように、インドは、多くの政治的、経済的、歴史的な理由により、紛争に対して「外交的均衡」アプローチを採用してきました。この点で、私たちは、戦争に反対してウクライナの人々と公然と連帯し、ロシアがウクライナへの爆撃をやめ、軍隊を撤退させるよう要求したことに対し CPIML に感謝します。同時に、我々は、米国がロシアに対する制裁を撤回し、NATO がその主張されている拡大を停止するよう求める CPIML の要求を受け入れません。「米国と NATO による干渉と戦争挑発」などの声明で表現されているように、私たちは断固としてホアバウティズムを拒否します。

はっきりさせておきます。Sotsialnyi Ruh では、過去であろうと現在であろうと、西洋の帝国主義と資本主義の目的を完全に認識し、批判しています。私たちはまた、自国政府の新自由主義政策を非難し、戦います。しかし、彼らはロシアの帝国主義的侵略を絶対に正当化するものではありません。さらに、この闘争におけるウクライナの機関が認められることを要請します。これは、戦争が西側とロシアの間の帝国主義的対立に縮小されたときに行うことはできません。1 世紀以上前、レーニンがウクライナの主権を認めたのは、まさに「大ロシア排外主義」の危険性があったことを思い出してください。これがウラジミール・プーチンをととても苛立たせているのも不思議ではありません。

最後に、Sotsialnyi Rukh は、インドとそれ以降の両方で抑圧と戦うという CPIML の使命に完全に連帯していると結論付けさせてください。CPIML が「インドをファシズムの手から救い出す」ことを目指しているため、ウクライナは隣国からの外部のファシストの脅威と戦っています。重要なこ

とに、CPIML 第 11 回議会の決議草案で正しく指摘されているように、「恐怖と憎悪、被害者性と覇権の組み合わせ」は、インドと同様にロシアにも存在します。

我々は、「企業による略奪とファシストの攻撃」に絶対に抵抗する必要があることに同意し、「すべての民主主義勢力とイデオロギーの流れの間で可能な限り広範な団結と協力」を求める CPIML の呼びかけを完全に支持する。さらに言えば、ソツィアルニ・ルーは、現在の社会経済秩序によって引き起こされた人類の最も差し迫った問題を解決するための共同イニシアチブと努力の調整についての対話にオープンです。

平和、平等、社会正義が行き渡るように。ご清聴ありがとうございました。